



# 骨粗しょう症予防は 寝たきり予防

骨粗しょう症は骨が脆くなり骨折を起こし易くなる疾患です。わが国の骨粗しょう症患者さんは、現在 1280 万人と考えられています。骨粗しょう症になって骨折を起こすと、骨折を繰り返すため、寝たきりにつながります。したがって骨粗しょう症は予防や早期発見が大切です。しかしながら骨粗しょう症は骨折が起こるまで症状が無いことが多いため、知らず知らずのうちに進行してしまいます。そこで骨粗しょう症にはどのような人がなりやすいかと予防法の最新情報をご説明いただきます。



はぎの ひろし  
**萩野 浩 氏プロフィール**

昭和 57 年 3 月 鳥取大学医学部卒業  
昭和 63 年 4 月 鳥取大学整形外科助手  
平成 3 年 3 月 米国クレイトン大学骨粗しょう症センター留学  
平成 4 年 5 月 鳥取大学医学部整形外科講師  
平成 14 年 4 月 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部助教授  
平成 20 年 4 月 鳥取大学医学部保健学科教授

平成 30 年  
日時 **1月20日** **土** 午後2時より  
(3時30分 終了予定)

場所 **米子市立図書館 2 階 多目的研修室**

講師 **鳥取大学医学部保健学科教授**